

(別紙) 慢性期の医療・介護ニーズへ対応するためのサービスモデル

現行の 医療療養病床(20対1)	案1 医療内包型		案2 医療外付型	現行の 特定施設入居者 生活介護
	案1-1	案1-2	案2	
サービス の特徴	長期療養を目的としたサービス(特に、「医療」の必要性が高い者を念頭)	長期療養を目的としたサービス(特に、「介護」の必要性が高い者を念頭)	居住スペースに病院・診療所が併設した場で提供されるサービス	特定施設入居者 生活介護
利用者像	病院・診療所	長期療養に対応した施設(医療提供施設)	病院・診療所と居住スペース	有料老人ホーム 軽費老人ホーム 養護老人ホーム
	医療区分ⅡⅢを中心 医療の必要性が高い者	医療区分Ⅰを中心 ・長期の医療・介護が必要 医療の必要性が比較的高く、 <u>容体が急変するリスクがある者</u>		
医療機能	人工呼吸器や中心 静脈栄養などの医療	多様なニーズに対応する日常的な医学管理		医療は外部の 病院・診療所から 提供
	・24時間の看取り・ ターミナルケア ・当直体制(夜間・ 休日の対応)	オンコール体制による看取り・ ターミナルケア	併設する病院・診療所からの オンコール体制による看取り・ ターミナルケア	
介護機能	介護ニーズは問わない	高い介護ニーズに対応	多様な介護ニーズに対応	

※医療療養病床(20対1)と特定施設入居者生活介護については現行制度であり、「新たな類型」の機能がわかりやすいよう併記している。

※案2について、現行制度においても併設は可能だが、移行を促進する観点から、個別の類型としての基準の緩和について併せて検討することも考えられる。